

真理 しんり

うそ

みなさんは、どんなときにうそをついてしまうか、
考えて、つぎの空白くうはくに書いてください。

真理の霊れいが送おくられる

イエスは弟子でしたちに聖霊せいれいのことについて、次つぎのよう
に言いっています。

「真理しんりの霊れいが来くると、あなたがたを導みちびいて真理しんりを
ことごとく悟さとらせる。その方かたは、自分じぶんから語かたるのでは
なく、聞きいたことを語かたり、また、これから起おこること
をあなたがたに告つげるからである。」

「真理しんり」という言葉ことばは、聖書せいしょでは、信しん頼らいにあたいます
るもの、確たじかなものという意味いみで使つかわれています。「ア
ーメン」という言葉ことばは、「真理しんり」と同じ語源ごげんから作つく
られていて、確たじかに、本ほん当とうにという強つよい同意どういを表あらわして

います。

父と子と聖霊

祈るときには、十字をきつて、「父と子と聖霊のみ名
によって。アーメン」と唱えます。

イエスさまの弟子たちは、聖霊は、父である神さま
と、子であるイエスさまから送られてきていると知る
ようになりました。

そして、神さまの働きのなかに、お父さんのよう
に、こわいけれども、頼れるような姿があったり、
イエスさまのように、みんなと同じ神さまのこどもの
姿であったり、みんなを勇気づける聖霊の姿であつ

たりすることにも気づきました。

父と子と聖霊のみ名によって祈るとき、それぞれの
神さまの働きを受け入れていることを示しています。

